

「静かな冬の朝という奇跡」(2025. 2. 16)

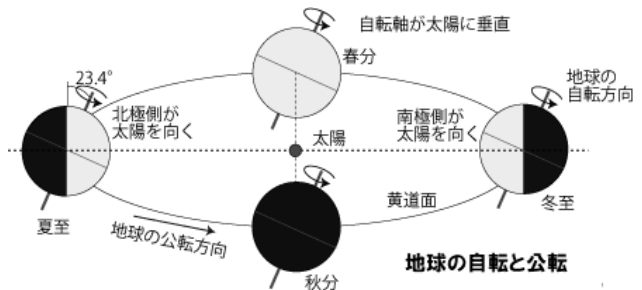
神は言われた。「天の大空に光る物があって、昼と夜を分け、季節のしるし、
日や年のしるしとなれ。天の大空に光る物があって、地を照らせ。」

そのようになった。(創世記 1:14-15)

先日、youtube を見ていて、改めて創造の素晴らしさに感動した。寒い冬の朝、布団から出るのにちょっとした勇気が必要です。そのとき、ちょっと思い巡らしてほしい。静かな冬の朝を迎えられることは奇跡だということを。

私たちが朝を迎えられるのは、地球が自転しているからです。自転して太陽の光が当たると朝になります。また、冬を迎えられるのは、地球が 23.4° 傾いて公転しているからです。北極が太陽と反対側に傾くと冬になります。朝と夕、春夏秋冬は、地球が自転し公転しているからです。凄いですね。

また、地球の自転速度は、日本の位置では時速 1500km、新幹線の最高速度の 5 倍です。秒速 417m です。凄いスピードで回転しています。さらに公転速度は時速 11 万 km、秒速 30km です。めちゃくちゃ速いのです。秒速 417m で自転しながら秒速 30km で公転しているのです。私だったら目が回り、意識が無くなります。でも、地球は規則正しく、しかも静かです。私たちにその回転を感じさせないのです。凄いですね。



この地球のシステムを科学者は解明してくれました。感謝なことです。そこで問いたい。このようなシステムの存在は偶然か、設計か、と。創造信仰のない人には、物理的・化学的作用による偶然の結果でしょう。でもそれは、偶然という得体のしれない妖怪を信じることになります。しかし、私たちはここに神の知恵と力、私たち人間への深い愛があると信じます。そして、偶然は神が架けてくれる架け橋であると悟るのです。私たちが静かな冬の朝を迎えられるのは奇跡です。

まだ寒い冬が続きます。でも、朝、静かに目覚めた時、地球のこの凄いシステムにちょっと思いを馳せたらいかがでしょうか。きっとそこに込められている創造主の知恵と力、愛に心が暖められるに違いありません。教会ミニカまぐらのねらいもそこにあります。